

平和憲法の危機が急加速！ 最後まであきらめず闘おう！

7月21日投開票が行われた第23回参議院議員選挙は、自民党が65議席を獲得し115議席（+31）、与党は135議席（+32）で過半数を超えました。JR東海労推薦候補は残念ながら当選することが出来ませんでした。この間の組合員の御奮闘に感謝申し上げます。

これを契機に、改憲の動きが急加速します。安倍首相は憲法9条の国防軍設置に意欲を示しています。

共同通信社が22日、参議院議員に行ったアンケートによると、72%が改憲（含、加憲）賛成と回答しました（196人から回答）。積極的改憲派の自民、維新（9議席）、みんな（18議席）、新党改革（1議席）の各党は143議席で、これに民主党11名、公明党11名が改憲に賛成し、合計すると163議席となり、改憲発議に必要な3分の2を超えてしまいます。

一方、96条に関しては約45%が反対しており、まさに首の皮一枚で繋がった状態といえます。とはいえ、96条を除いて改憲しようと思えばいつでも可能となるのです。

私たちは、何としても、改憲＝戦争が出来る国づくりは許してはなりません。最後の砦は国民投票となります。改憲に×をつける国民が過半数を超えれば改憲が阻止できます。職場・地域から改憲阻止の闘いをつくり上げていこうではありませんか。

参院選で改憲派が3分の2超
最後の砦は国民投票の過半数